



まちの応援プロボノチーム

2024年度 事例のご紹介



まちの応援プロボノチームについて

●概要

まちの応援プロボノチームは、各町会・自治会が抱える個別の課題や先行事例が少ない課題を解決すべく、5名前後のプロボノワーカチームが町会・自治会の皆さんのお声を聞きながらプロジェクトを推進し、町会・自治会毎の成果物を提供します。

●支援内容例

町会・自治会が抱える課題・ニーズの例

運営を改善したい...

運営の担い手を増やしたい
作業負担を軽くしたい
事務作業を効率化したい

参加の輪を広げたい...

行事の参加者を増やしたい
若い世代に関心を持ってほしい
加入率を高めたい

活動を刷新したい...

新しい事業を企画したい
既存の活動を見直し改善したい
住民の希望・ニーズを知りたい

運営改善のための 組織づくりをサポート

より効果的な 情報の伝え方や 活動方法の提案

活動内容を コンサルティングで 一緒に検証・見直し

プロボノによる支援内容の例

作業内容の見える化・整理による
業務の棚卸し、効率化の提案

初めての参加者でも手伝える
運営マニュアル作成

実現可能なオンラインイベントを
一緒に考えて企画立案

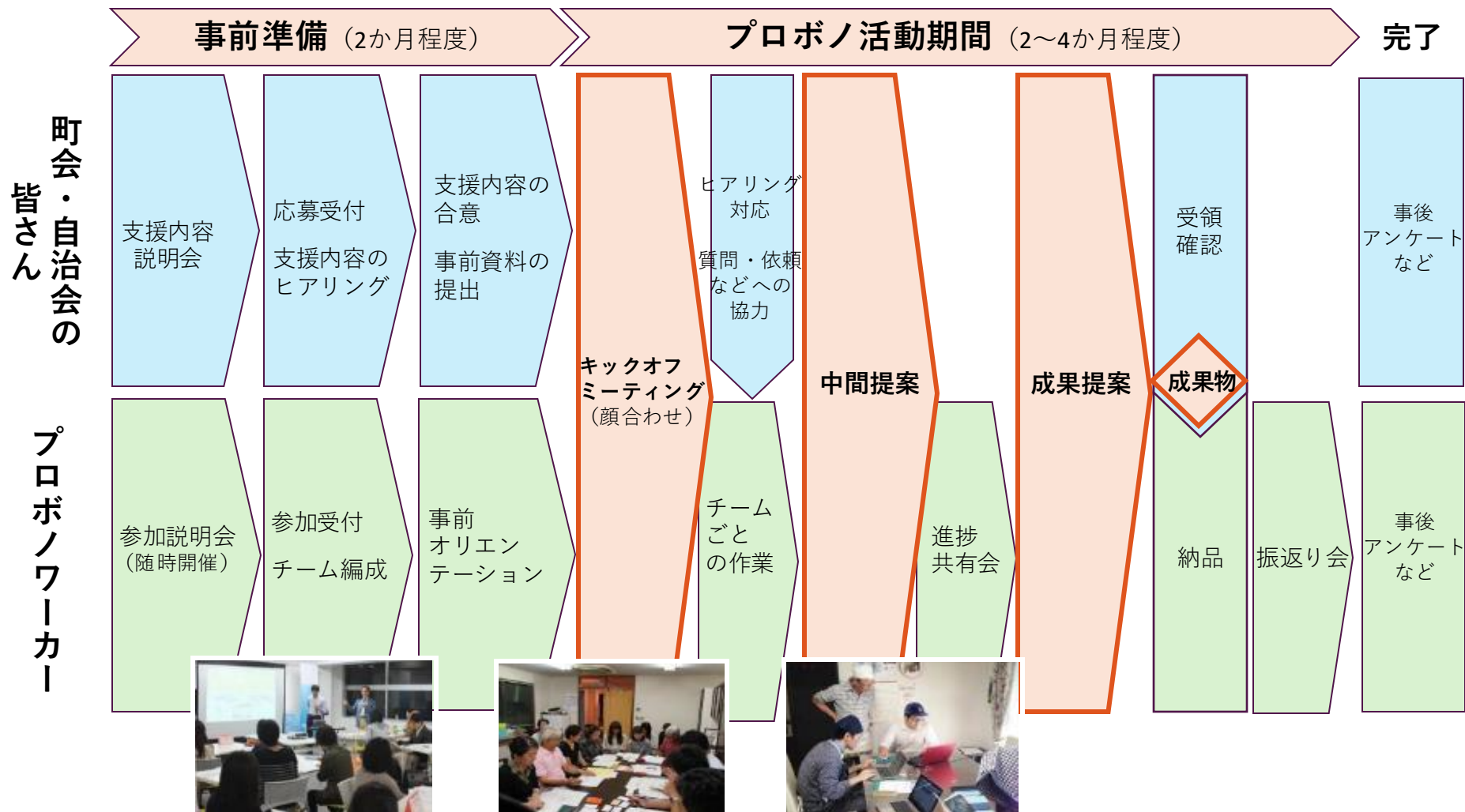
活動をより魅力的に伝えるための
チラシ・パンフレットの改善

課題の見える化、解決策の提案

住民ニーズ（意識・期待）調査

「まちの応援プロボノチーム」の進め方

※プロボノチームとの打ち合わせは、状況によりオンラインで実施しました。



プロボノチームは事前に集まり、プロジェクトの準備を開始します。

町会・自治会とプロボノチームが初対面し活動への理解を深めます。

住民の皆さんへのヒアリングや成果物の作成など目標に向けてチームごとに作業を進めます。

業務の偏りを減らして、皆が参加しやすい町会へ！

下丸子三丁目町会[大田区] 構成世帯数 1,000

2024年度



まちの応援
プロボノチーム

● **支援内容** 町会運営業務の棚卸と効率化

- **ポイント**
- ① 町会業務を棚卸しして、役割分担の道筋をつけたい
 - ② 関連資料の精査と関係者の思いの聞き取りを踏まえ、町会内の業務手分けフローを整備
 - ③ 町会内のコミュニケーションを大切に、業務の偏りを少しずつ手分けできるようにしていくための仕組み作りを提案

● プロジェクトと成果物の概要

東京都大田区が多摩川沿いに位置し、若い世代から高齢者まで幅広い世代の住民の生活拠点であると同時に、働く場所や商業施設が混在するエリアです。

プロジェクトでは、**現役世代も町会運営に参加しやすくなる**ことを目指して、特に会長が多く抱える町会業務を中心にヒアリングで**棚卸し・整理し、業務の見える化**を行いました。プロボノチームが町会の理事会や歳末夜警などにも足を運び、町会の方にお話を伺いました。一方で行政からの配布資料の分析とGoogleDriveへの格納整理や、参考となる他町会・自治会の取組事例の収集も進めました。

成果提案では、**町会の方が無理なく実現できるもの**として、GoogleDriveやメールも活用しつつ、町会内のコミュニケーションを大切に、**町会運営業務の偏りを皆で少しずつ手分けを進める仕組み**を提案し、次世代へ引き継いでいくための第一歩となりました。

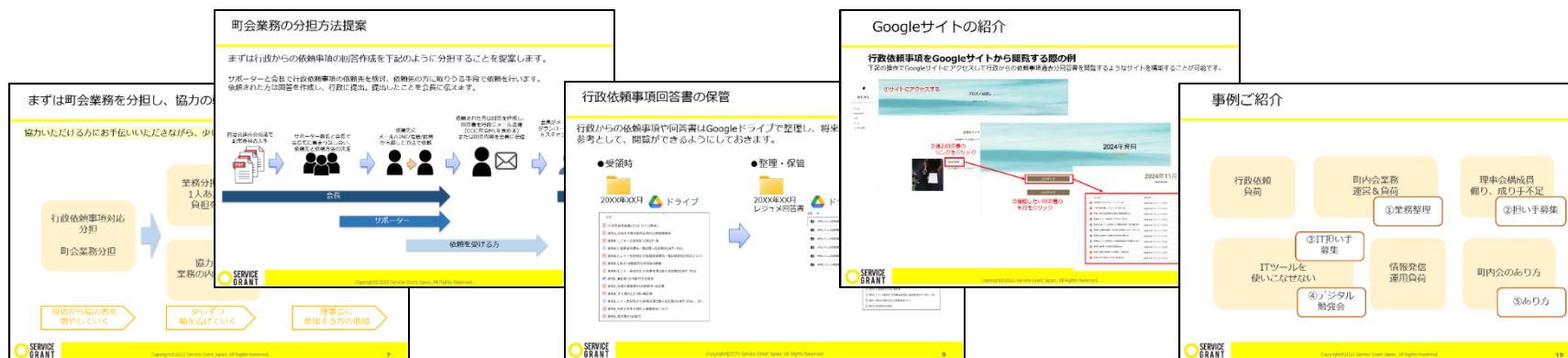


業務の偏りを減らして、皆が参加しやすい町会へ！ 下丸子三丁目町会[大田区] 構成世帯数 1,000

●プロジェクトの流れ

キックオフ ミーティング	町会役員の方へ、町会の課題や今回のプロジェクトへの期待を詳しく伺いました。町会の業務の多様さや複雑な連絡経路を知り、改めて地域での町会の役割に気づく機会となりました。
ヒアリング実施	役員の方や比較的最近に町会運営に関わるようになった方へ、町会への思いや普段感じている課題、町会運営への関わりなどを伺いました。町会の理事会や歳末夜警や餅つきなどの町会行事も見学し、町会運営が進められる様子や地域住民の皆さんの交流の様子に触れました。
調査・分析	行政から町会への配布資料データなどを読み解き、町会運営業務の状況の整理分析を進めつつ、参考になりそうな他町会・自治会の事例についても調査しました。
中間提案	チームからのデジタルツール活用提案について、町会の方より業務の効率化や業務の偏りの軽減への期待、デジタル環境が身近でない人への配慮などについて意見が寄せられました。
成果提案	デジタルツールも使いつつ、町会内のコミュニケーションを大切に、町会業務の偏りを皆で少しずつ手分けできるようにしていくための仕組み作りを提案しました。町会の方からは、次の世代に引き継ぐためにも、考えてもらった仕組みを使って役割分担を必ず実現したいと、熱意のこもったコメントをいただきました。

●成果物（一部抜粋）



アンケート調査で、住民参加型の活動促進のヒントを探りたい！ クレストフォルム自治会[江戸川区] 構成世帯数 203

- **支援内容** 自治会の活動の方向性を検討するための住民ニーズ調査
- **ポイント**
 - ①住民の参加意識を高める段階的な活動方針をまとめたい
 - ②自治会活動への参加意識や活動の改善点を知るため、住民アンケート調査を実施
 - ③プロボノチームから結果考察をもとに参加しやすくなる工夫を提案

● プロジェクトと成果物の概要

大規模マンションの自治会でマンションの全世帯が加入し、顔の見える関係性づくりのために独自の展開をしています。地域とのつながりが濃い一方で、高齢者を含む単身者や新しい転入者もあり、自治会としては、**住民参加型の活動を促進したい**と考えていました。今回のプロジェクトでは、住民のみなさんが**どのような活動や仕組みがあるとよい**と感じているか、**どのような形であれば自治会活動に参加できる**と考えているかの声を集めるため、**アンケート調査**を実施しました。成果提案時にはプロボノチームから**調査結果の分析**とともに、**参加しやすくなる工夫**についての具体的な提案もあり、自治会内で今後の活動方針を検討する足掛かりとなりました。



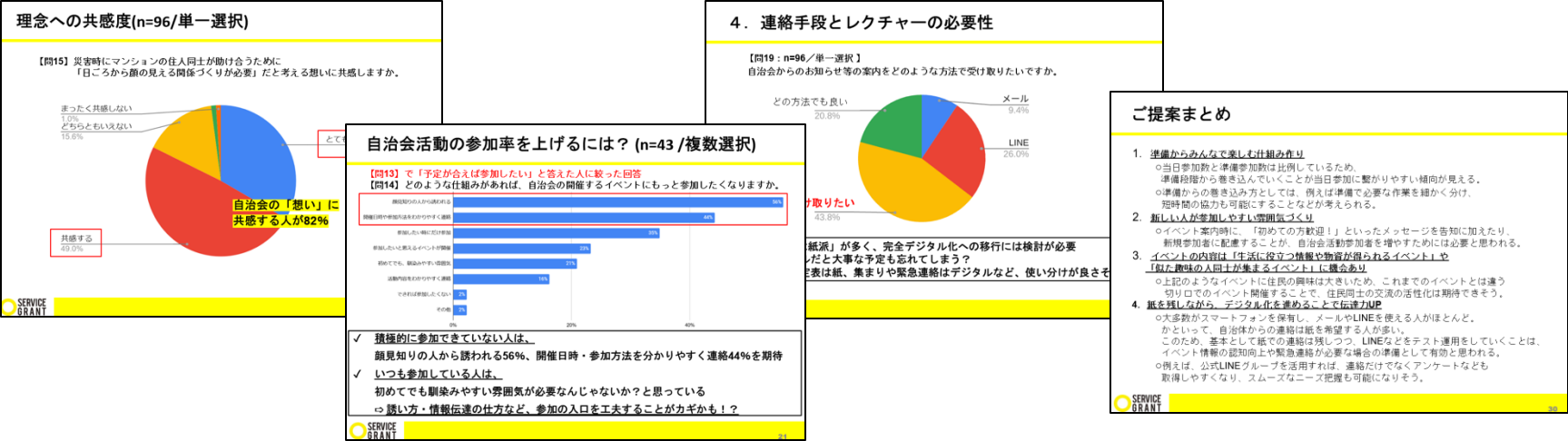
アンケート調査で、住民参加型の活動促進のヒントを探りたい！
クレストフォーム自治会[江戸川区]
構成世帯数 203



●プロジェクトの流れ

キックオフ ミーティング	役員のみなさんに自治会の現状や課題を詳しく伺うとともに、プロジェクトの進め方やゴールを確認しました。プロジェクトに対する期待や背景の思いなどへの理解が深まる時間となりました。
ヒアリング実施	チームから主要な役員4名に個別に電話にてヒアリングを実施しました。自治会活動への思いやどのような暮らしでありたいかのイメージなどをお伺いしました。
中間提案	役員会にて今回のアンケートの目的や主旨を改めてお伝えするとともに、アンケート項目をご提案。アンケートでお聞きしたい内容などについて意見交換を行い、方向性について合意を得ました。
アンケート調査	チームと自治会でやりとりを進めてアンケート項目や実施方法をブラッシュアップし、アンケート調査票が完成。自治会役員のみなさんが全戸配布にご協力くださりました。
成果提案	調査の結果分析とまとめとともに、参加しやすくなる工夫をチームから提案し、今後の活動の方向性についてチームと自治会で意見交換を行いました。

●成果物（一部抜粋）



自治会に関わる誰でも情報発信に取り組めるようにしたい！

長峰・杜の一番街自治会[稲城市]構成世帯数約400

2024年度



まちの応援
プロボノチーム

- **支援内容** SNSを活用した情報発信のガイドライン作成
- **ポイント**
 - ①自治会費ゼロを前提に情報発信のデジタル化を推進
 - ②立ち上げ済の各種SNSを効果的に活用したい
 - ③複数の役員がSNSで情報発信できる状態を目指したい

●プロジェクトと成果物の概要

長峰・杜の一番街自治会は、だれでも参加できるようにとの思いから自治会費を徴収せず、活動費を市からの限られた助成金でまかっています。

この春に新たな役員メンバーも加わって自治会活動を再スタート。自治会費ゼロでの活動継続方法を試行錯誤しながら活動しています。

今回のプロジェクトでは、SNSを活用した情報発信のためのガイドラインを作成しました。

発信に取り組んできた役員のノウハウを把握するとともに、各ツールの特徴を整理し、効果的な発信内容や運用方法を検討しました。さらに情報発信の目的や運用方法をガイドラインに整理しました。



自治会に関わる誰でも情報発信に取り組めるようにしたい！
長峰・杜の一番街自治会[稲城市] 構成世帯数約400

2024年度

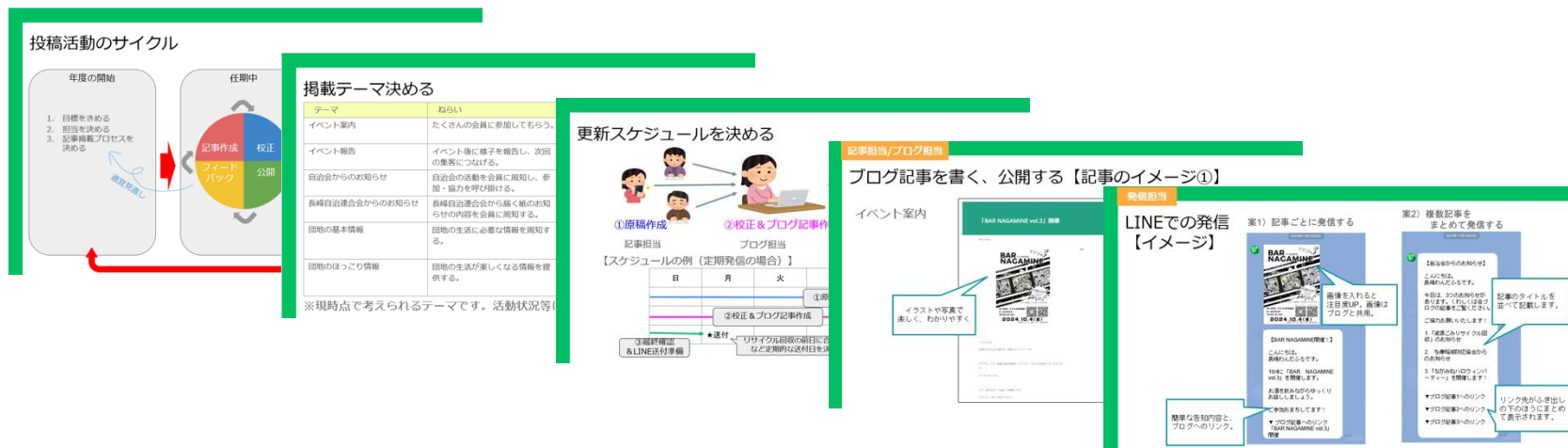


まちの応援
プロボノチーム

●プロジェクトの流れ

キックオフ ミーティング	自治会について、プロジェクトへのご期待について、チームからの様々な質問にお答えいただきました。ヒアリング準備についても合わせて確認しました。
ヒアリング実施	自治会役員の方へのヒアリングを実施しました。結果をもとに、SNS活用ガイドラインに盛り込むべき点やSNS運用の留意点から提案の方向性を固めていきました。
中間提案	ヒアリングから見えた課題や他団体のSNS調査事例をお伝えし、ガイドラインに盛り込む内容をご提案しました。
ガイドライン作成	中間提案で合意した方向性に沿ってガイドラインの作成を進めました。
成果提案	SNS活用ガイドをご提案しました。今後自治会内で情報発信する際の役割分担イメージもあわせてお話する時間となりました。

●成果物（一部抜粋）



加入世帯に安心を、未加入世帯に関心を！防災マニュアルの作成 金森三丁目町内会[町田市] 構成世帯数 117



● **支援内容** 助け合える関係づくりを育む、災害時の初動手引書の作成

- **ポイント**
- ①加入世帯により安心感をもってもらう災害時の初動手引書を作成し、未加入世帯にも町内会への関心を高めていきたい
 - ②町内会のバーベキューイベントの参加者に対してプロボノチームがヒアリング調査を行い結果を分析。
 - ③分析結果をもとに構成案を提案後、防災マニュアル冊子とマグネットステッカーのデザインを作成し、入稿データを納品

● **プロジェクトと成果物の概要**

昭和40年代頃に造成された地域という特性から、会員世代は80代、その子ども世代の40代～50代が多く、新しく転入してきた30～40代の若い世帯は、子育てや仕事に忙しく町内会への関心が低く未加入です。そんな中でも、いざという時に助け合いができる関係づくりを目指して、防災、防犯をメインに取り組みを実施しています。参加者が負担にならない範囲で無理なくイベント行い、挨拶ができる程よい距離感で共助の心を育む活動をしています。

いざという時に助け合いができる関係づくりを育んでいきたい。
加入世帯により安心感をもってもらい、未加入世帯への関心を高めていくため、町内会独自の防災マニュアルとマグネットシートを作成していきました。



加入世帯に安心を、未加入世帯に関心を！防災マニュアルの作成
金森三丁目町内会[町田市] 構成世帯数 117



まちの応援
プロボノチーム

●プロジェクトの流れ

キックオフ ミーティング	町内会とチームとの初顔合わせをオンラインで行いました。お互いの自己紹介からはじまり、プロジェクトの目的とゴール、成果物イメージや進め方などを確認していきしました。
アンケート・ヒア リング実施	年に一度開催する町内会のバーベキューイベントに参加し、ご参加のみなさんに防災意識のヒアリングを行いました。多くの方たちにお話を伺える有意義なマーケティング活動となりました。
中間提案	ヒアリングで得た情報をもとに、災害時の初動手引書の構成案4タイプとデザインラフ案を提案しました。団体の皆さんと具体的なイメージを共有しながら、意見交換を行いました。
成果提案	防災マニュアル冊子と、併せて防災マグネットシートの内容を最終確認した後、成果物の今後の活用イメージや、プロジェクト全体の振り返りを行いました。後日、データ納品し、団体の方で、直近に開催予定の防災イベントに向けて印刷、全戸配布を行いました。

●成果物（一部抜粋）

●防災マニュアル

被災後の生活準備と復旧

●電気、通信、上下水道、ガス等のインフラの復旧には
1週間~2ヶ月程度かかる場合があります。

ライフラインの復旧を90%回復させるために要する目標日数

電気	通信	上下水道	都市ガス
7日	14日	7日	60日

(注1) 電気・通信「復旧率」は「復旧率」ではなく「稼働率」を意味します。

●在宅避難を想定した準備をしましょう。

- ・給電地域や「蓄」・発電機・ガスボンベなどの備蓄
- ・防災用いんぐの準備
- ・近所では避難時水タンクを巡回利用
- ・通信は公衆電話を利用

●情報の入手先を確認しましょう。

- ・防災行政無線（フリーダイヤル（市町部）
0800-800-5181
- ・防災行政無線放送（市町部）
- ・防災無線メール（メール型）の受信（市町部）
- ・防災無線メール（メール型）の送信（市町部）

金森三丁目 防災マニュアル

Q.1 大地震、町内は
どのくらい揺れるのでしょうか？



（いちいち）
はともかく

✓

☐ 在宅避難を想定して準備しましょう

☐ 「いちいち」を見てみましょう

町内の想定被害

- 水造物が多く、倒壊すると危険です。
- 橋が崩れて狭い道は通れなくなることもあります。

全壊率

築年数	震度 6	震度 6 弱	震度 7
1980 年以前	5%以下	30%以上	90%
1981 - 1991 年	10%以下	30%以下	50%
1992 - 2001 年	10%以下	30%以下	30%
2002 年以降	10%以下	10%以下	20%

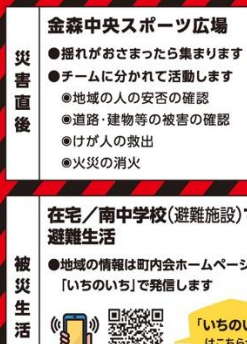
町内市の被害想定(※事業部直下地震・※ M7.3)

死者	負傷者	建物被害数	全壊棟数	避難者数
121 名	2,126 名	2,655 棟	1,713 棟	58,411 名

(出典：国土庁「震害想定調査報告書」(平成 15 年 12 月 25 日公表))

[illegible][illegible]

●防災マグネットシート









いちのいち。
はこちらから

地域情報は町内会ホームページ
「いちのいち」で発信します

在宅／南中学校(避難施設)で避難生活

被災生活

金森三丁目の防災活動

金森中央スポーツ広場

- 揺れがおさまったら集まります
- チームに分かれて活動します
- 地域の人の安否の確認
- 道路・建物等の被害の確認
- けが人の救出
- 火災の消火

災害直後

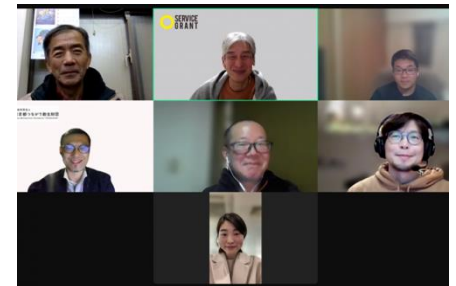
グループウェアの導入で町会運営業務を効率化しよう！ 落合町会[八王子市] 構成世帯数 216

- 支援内容 町会運営業務効率化のためのグループウェアの導入
- ポイント
 - ①属人的な町会運営業務全般を見直し、効率と共有化をしたい
 - ②役員へのヒアリングや資料を元に総会業務フローを作成
 - ③役員の一部でサイボウズ（グループウェア）をパイロット運用し、実際に使用しながら運用方法を検討

● プロジェクトと成果物の概要

役員の高齢化が進み、属人的な町会運営となっていることや、各部会からの資料を集めて総会資料として取りまとめる手間と時間がかかっていることが課題でした。町会運営業務全般を見直し、グループウェアを導入することで、**町会の活動をより効率化し、共有化**を促進していきたいと考えています。

そこで今回のプロジェクトでは、役員へのヒアリングや資料をもとに総会の業務フローを整理。さらに整理した業務フローに対し、サイボウズの機能を使ってプロトタイプを作成し、機能設計を行うと同時に、パイロット運用として実際に役員のみなさんで操作を確認していきました。今後、町会全員へのグループウェア導入を目指し、**町会業務のIT化の促進の意識改革**を啓蒙するチラシを作成し、町民の皆さんにもご理解をいただける足掛かりとしました。



グループウェアの導入で町会運営業務を効率化しよう！ 落合町会[八王子市] 構成世帯数 216

●プロジェクトの流れ

キックオフ ミーティング	プロボノチームと落合町会との初顔合わせ。事前に頂いていた資料をもとに、課題の確認や今後の進め方について話をし、互いの認識のすり合わせができました。
ヒアリング実施 アンケート調査	落合町会会館にて団体役員とプロボノチーム全員が対面でのヒアリングを実施しました。その後、プロボノチームの定例ミーティングに団体役員も参加し、ヒアリングを元にプロトタイプ作成とパイロット運用について検討を行っていきました。
中間提案	今までのヒアリングの報告を含め、サイボウズOffice展開スケジュール(案)や業務の利用機能についての報告を行いました。また、今後のスケジュールについても確認し、最終提案に向けての準備を進めることになりました。
成果提案	業務一覧のまとめ、総会業務のフロー、利用ガイドライン等を完成させ、またグループウェアの設定シートをまとめることで今後の運用が町会でおこなえるように配慮しました。

●成果物 (一部抜粋)

●業務設計関連の資料

業務の明確化

業務の見える化、標準化の第一歩として、業務の洗い出しとして、利用ドキュメント/ヒアリングによって、業務一覧を作成、業務を明確化しました。

・各種、出資料
・町会利用資料
・ヒアリング
・ヒアリング実施

・ヒアリング結果整理表

・業務一覧表

業務設計/業務の見える化

業務設計として、35業務を他の町会業務を参考にしつつ、落合町会様の課題や留意事項を記載して、業務の見える化と集中管理ができる仕組みを作成しました。

業務名	業務内容	担当者	実施時期	実施場所	実施回数	実施状況
総会業務	総会の開催、議決書の作成、議決書の提出、議決書の執行	役員	毎年1回	会館	1回	完了
役員業務	役員会の開催、議決書の作成、議決書の提出、議決書の執行	役員	毎月1回	会館	12回	完了
住民業務	住民の受付、住民の案内、住民の相談、住民の対応	住民	毎日	会館	365回	完了
その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他

グループウェア導入の流れ

グループウェアの導入の流れを適宜修正して、以下の流れで進めました。

業務の明確化 → 業務設計/業務の見える化 → 機能設計 → パイロット運用/グループウェア導入

① 業務の明確化
② 業務設計/業務の見える化
③ 機能設計
④ パイロット運用/グループウェア導入

グループウェア/Googleサイトの展開スケジュール(案)

全体スケジュールとして、基本的なコミュニケーション、版ハコ、一般会員の情報発信を段階的に導入するスケジュールを計画(案)を作成しました。

① 総会業務の導入
② 役員業務の導入
③ 住民業務の導入
④ その他

2023/02 2023/04 2023/06 2023/08 2023/10 2023/12 2024/01 2024/03 2024/05 2024/07 2024/09 2024/11 2025/01 2025/03 2025/05 2025/07 2025/09 2025/11 2026/01 2026/03 2026/05 2026/07 2026/09 2026/11 2027/01 2027/03 2027/05 2027/07 2027/09 2027/11 2028/01 2028/03 2028/05 2028/07 2028/09 2028/11 2029/01 2029/03 2029/05 2029/07 2029/09 2029/11 2030/01 2030/03 2030/05 2030/07 2030/09 2030/11 2031/01 2031/03 2031/05 2031/07 2031/09 2031/11 2032/01 2032/03 2032/05 2032/07 2032/09 2032/11 2033/01 2033/03 2033/05 2033/07 2033/09 2033/11 2034/01 2034/03 2034/05 2034/07 2034/09 2034/11 2035/01 2035/03 2035/05 2035/07 2035/09 2035/11 2036/01 2036/03 2036/05 2036/07 2036/09 2036/11 2037/01 2037/03 2037/05 2037/07 2037/09 2037/11 2038/01 2038/03 2038/05 2038/07 2038/09 2038/11 2039/01 2039/03 2039/05 2039/07 2039/09 2039/11 2040/01 2040/03 2040/05 2040/07 2040/09 2040/11 2041/01 2041/03 2041/05 2041/07 2041/09 2041/11 2042/01 2042/03 2042/05 2042/07 2042/09 2042/11 2043/01 2043/03 2043/05 2043/07 2043/09 2043/11 2044/01 2044/03 2044/05 2044/07 2044/09 2044/11 2045/01 2045/03 2045/05 2045/07 2045/09 2045/11 2046/01 2046/03 2046/05 2046/07 2046/09 2046/11 2047/01 2047/03 2047/05 2047/07 2047/09 2047/11 2048/01 2048/03 2048/05 2048/07 2048/09 2048/11 2049/01 2049/03 2049/05 2049/07 2049/09 2049/11 2050/01 2050/03 2050/05 2050/07 2050/09 2050/11 2051/01 2051/03 2051/05 2051/07 2051/09 2051/11 2052/01 2052/03 2052/05 2052/07 2052/09 2052/11 2053/01 2053/03 2053/05 2053/07 2053/09 2053/11 2054/01 2054/03 2054/05 2054/07 2054/09 2054/11 2055/01 2055/03 2055/05 2055/07 2055/09 2055/11 2056/01 2056/03 2056/05 2056/07 2056/09 2056/11 2057/01 2057/03 2057/05 2057/07 2057/09 2057/11 2058/01 2058/03 2058/05 2058/07 2058/09 2058/11 2059/01 2059/03 2059/05 2059/07 2059/09 2059/11 2060/01 2060/03 2060/05 2060/07 2060/09 2060/11 2061/01 2061/03 2061/05 2061/07 2061/09 2061/11 2062/01 2062/03 2062/05 2062/07 2062/09 2062/11 2063/01 2063/03 2063/05 2063/07 2063/09 2063/11 2064/01 2064/03 2064/05 2064/07 2064/09 2064/11 2065/01 2065/03 2065/05 2065/07 2065/09 2065/11 2066/01 2066/03 2066/05 2066/07 2066/09 2066/11 2067/01 2067/03 2067/05 2067/07 2067/09 2067/11 2068/01 2068/03 2068/05 2068/07 2068/09 2068/11 2069/01 2069/03 2069/05 2069/07 2069/09 2069/11 2070/01 2070/03 2070/05 2070/07 2070/09 2070/11 2071/01 2071/03 2071/05 2071/07 2071/09 2071/11 2072/01 2072/03 2072/05 2072/07 2072/09 2072/11 2073/01 2073/03 2073/05 2073/07 2073/09 2073/11 2074/01 2074/03 2074/05 2074/07 2074/09 2074/11 2075/01 2075/03 2075/05 2075/07 2075/09 2075/11 2076/01 2076/03 2076/05 2076/07 2076/09 2076/11 2077/01 2077/03 2077/05 2077/07 2077/09 2077/11 2078/01 2078/03 2078/05 2078/07 2078/09 2078/11 2079/01 2079/03 2079/05 2079/07 2079/09 2079/11 2080/01 2080/03 2080/05 2080/07 2080/09 2080/11 2081/01 2081/03 2081/05 2081/07 2081/09 2081/11 2082/01 2082/03 2082/05 2082/07 2082/09 2082/11 2083/01 2083/03 2083/05 2083/07 2083/09 2083/11 2084/01 2084/03 2084/05 2084/07 2084/09 2084/11 2085/01 2085/03 2085/05 2085/07 2085/09 2085/11 2086/01 2086/03 2086/05 2086/07 2086/09 2086/11 2087/01 2087/03 2087/05 2087/07 2087/09 2087/11 2088/01 2088/03 2088/05 2088/07 2088/09 2088/11 2089/01 2089/03 2089/05 2089/07 2089/09 2089/11 2090/01 2090/03 2090/05 2090/07 2090/09 2090/11 2091/01 2091/03 2091/05 2091/07 2091/09 2091/11 2092/01 2092/03 2092/05 2092/07 2092/09 2092/11 2093/01 2093/03 2093/05 2093/07 2093/09 2093/11 2094/01 2094/03 2094/05 2094/07 2094/09 2094/11 2095/01 2095/03 2095/05 2095/07 2095/09 2095/11 2096/01 2096/03 2096/05 2096/07 2096/09 2096/11 2097/01 2097/03 2097/05 2097/07 2097/09 2097/11 2098/01 2098/03 2098/05 2098/07 2098/09 2098/11 2099/01 2099/03 2099/05 2099/07 2099/09 2099/11 2100/01 2100/03 2100/05 2100/07 2100/09 2100/11

●チラシ(変革メッセージ)

皆さんの
お悩み
なくしませんか？

データの検閲が
バラバラで、
引継ぎも大変...

新への移行や
ハンコ押印は
手配がかかる...

各部門との
情報交換が大変...

年賀状の送付先は
休日に送ります...

イベントやお祭りのお
知らせがタイムリーに
知りたいたい！

総会業務が
難しいと
聞かれます...

町会業務は
簡単かと思われ
ますが...

町会役員様

町会の方

2025年、落合町会に変革します

オンライン情報共有ツール
サイボウズOffice

-災害が起きたとき、あなたはどのようにする？-ファミリー防災教室 殿ヶ谷自治会〔西多摩郡瑞穂町〕 構成世帯数 1,360

● 支援内容 「ファミリー防災教室」の企画立案

- ポイント
 - ①「家族の防災計画づくり」のテーマでイベントの企画から運営までを自治会とプロボノチームがワンチームで実施
 - ②募集から準備、当日の進行や振り返りまでの取り組み内容を整理
 - ③次年度以降も企画が継続していけるよう、自治会の自走・持続可能な実施ノウハウを構築

● プロジェクトと成果物の概要

町や神社が主催のイベントは年間を通して数多くある一方、防災関連の取り組みはそれほど力を入れて取り組まれてきませんでした。様々な家族構成の世帯がある中で、災害時に町の人々の命を守るためには、**家族ごとの防災計画を立てる必要がある**と考え、「**ファミリー防災教室**」を自治会で発案したものの、企画の詳細や告知から当日の開催・運営にあたり、自治会だけでは対応できない課題がありました。それらの課題をプロボノチームと共有し、同じ目線に立って互いに議論しながら進めていきました。イベントを告知するチラシやポスター作成、イベント内容の検討・資料作成を**自治会とプロボノチームが一緒**に作り上げ、前日の準備やリハーサル、当日のタイムキーパーなど、進行のサポートも行い、イベント終了後のアンケート集計や次回に向けての振り返りをまとめました。



-災害が起きたとき、あなたはどうする？-ファミリー防災教室 殿ヶ谷自治会〔西多摩郡瑞穂町〕 構成世帯数 1,360

2024年度
 まちの応援
 プロボノチーム

●プロジェクトの流れ

キックオフ ミーティング	キックオフミーティングをオンラインで実施しました。自治会とチームとの初顔合わせで互いの自己紹介からスタートしましたが、課題についての認識や考え方についての熱い議論が交わされました。互いによりよいものを目指していく上で、防災に取り組む際の共通の問題意識の共有ができました。
中間提案	自治会のみなさんとチームメンバーが現地とオンラインのハイブリッドで中間提案会を実施しました。「ファミリー防災教室」の当日の内容や進行の確認をしながら、その場でチラシやポスターを検討・修正を行い、完成させました。
成果提案	イベント前日に当日の準備やリハーサルを行い、イベント当日はタイムキーパーや進行のお手伝いを自治会のみなさんと一緒になってイベントを開催しました。イベント終了後はアンケートの集計や次回に向けての提言を行いました。

●成果物（一部抜粋）

●イベントの進行表と当日の様子



●イベントポスター

殿ヶ谷
ファミリー

防災教室

-災害が起きたとき、あなたはどうする？-

東日本大震災、能登半島地震…いつ起きてもおかしくない地震。
 あなたは、災害発生時、大切な人とどうやって連絡を取りますか？

主催 殿ヶ谷自治会
日時 2025年1月13日(月祝)10時-12時
場所 殿ヶ谷会館

こんな方におすすめ

- ・ 家族で防災について学びたい方
- ・ 災害時の家族との連絡方法を知りたい方
- ・ いつもの防災訓練とは違う体験をしたい方

募集人数 20組程度(お一人での参加も可)

申込方法

- ① 申し込み書(当日または各町内会へ)
- ② Google form (予約: 決まり) が必要事項を入力

申込締切 2025年1月6日(月)

当日の持ち物 ① 参加費(お一人の費用) (5,000円) ② 飲み物(各自持ち)

問い合わせ先 殿ヶ谷自治会 総務課 090-3345-2532(シメトメ 可)

町会活動のDX（デジタル化）推進に向けた未来プランの作成 岩戸町会[狛江市] 構成世帯数 約3,100

● 支援内容

DX推進ロードマップの作成および、町会員と一体となった活動運営体制構築に向けた会員増加施策の提案

● ポイント

- ①大規模町会に合ったインタラクティブな町会活動の在り方を模索
- ②LINEをはじめとするデジタルツール活用の推進において、運営体制の構築に向けたロードマップと詳細なステップを提案
- ③町会員と一体となった町会運営を目指し、デジタル活用を前提に他町会の取組事例から有効と思われる会員増加施策も提案

● プロジェクトと成果物の概要

町会会員は約3,100世帯、該当地域の居住は全体で約9,000世帯と、大規模な町会だからこそ顔の見える関係づくりが難しい側面を抱える中、安心安全で非常時には助け合えるコミュニティづくりのため、住民とのつながりづくりに力を注いでいます。「まちの情報発信講座」にも参加し、LINE公式アカウントをこの春から試行予定です。今回のプロジェクトでは、デジタルツール活用を通じた住民への情報発信・関係性構築の強化を目的に、それを推進可能にする業務運営体制構築に向けた今後のロードマップ・各段階における詳細なステップを提案。効果的な業務運営の視点から将来を見据え会員管理システム導入等の検討材料も提供しました。さらにデジタル活用を踏まえた町会員増加施策についても他町会の取組事例を調査し、会員割引やサポーター制度の導入、「シェアリングエコノミー」の仕組みなど岩戸町会にとって効果的と思われる施策を提案しました。



町会活動のDX（デジタル化）推進に向けた未来プランの作成
岩戸町会[狛江市] 構成世帯数 約3,100



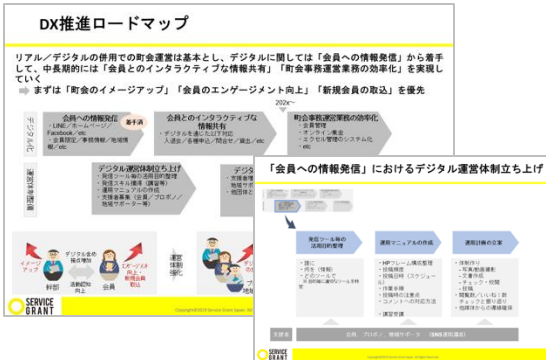
まちの応援
プロボノチーム

●プロジェクトの流れ

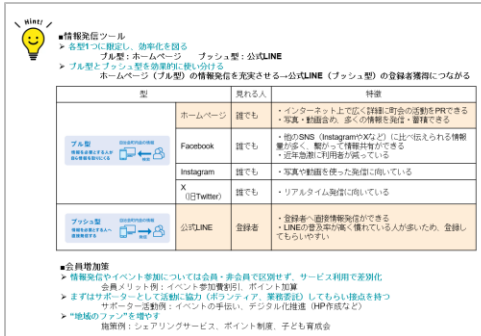
キックオフ ミーティング	プロボノチーム全員で町会の活動拠点に伺いキックオフを実施しました。このプロジェクトの先にある「実現したいこと」について熱い想いを伺い、基本的な組織運営体制などに理解を深めました。
ヒアリング実施	チーム側でフォーマットを用意し町会の役員の方々に業務内容を書き出していただいたシートに基づき、疑問点や課題など詳細について、会長、副会長さんたちへのヒアリングを実施しました。
アンケート調査	年末から年始にかけて、町会の理事20数名と班長さんたち200名を対象として、町会業務の課題感等をヒアリングするアンケートをオンラインフォームを通じて実施。回答内容を集計・分析しました。
中間提案	ヒアリングやアンケート分析内容をチームから報告し、その内容も踏まえ今後の成果物の方向性を議論。業務のスリム化といった方向性ではなく、DXをさらに推進するための運営体制構築に向けた提案と、会員メリットをその中でどう作っていくかの可視化を成果物とすることで合意しました。
成果提案	デジタル化およびその運営体制についての数年間のロードマップや詳細ステップ等を網羅的に提案。さらに町会員への割引やポイント制などの会員メリット創出、新サービス導入案など会員増加施策も提案。町会の役員の方からも「今後に活かせる素晴らしい成果物」とコメントをいただきました。

●成果物（一部抜粋）

●DX推進ロードマップ・ステップの提案



●会員増加施策の提案



●シェアリング
エコノミー立ち
上げガイドライ
ン案



- **支援内容** 防災に関する、町会の目指すべき姿・課題の整理と、解決策とアクションプランの提示
- **ポイント**
 - ①防災活動や今取り組むべき課題を俯瞰的に考えるきっかけに
 - ②商店や企業等を中心に構成される町会ならではの課題に注目
 - ③共通の理想像を持ちつつ、有事には団結できる町会を目指す

●プロジェクトと成果物の概要

銀座西四丁目町会銀友会は、戦後の再編を経て昭和27年に設立。町会区域内には商店や企業など様々な業態の法人・個人が存在し、代々銀座で商売を営んでいる方たちも多くいます。町会では、会員間のコミュニケーションを大切にし、地域の安心安全を守る活動に力を入れており、特に防災意識の向上に注力し、防災セミナーや会員間の交流を深めるためのイベント等を企画・運営しています。プロジェクトでは開始当初、地域特性を踏まえた防災ガイドの作成を目指していましたが、調査やヒアリングを進める中で、新たなご意見や資料をいただき、打ち合わせにて今一度成果物について検討。ガイド制作は立ち止まり、成果物を、防災に関する町会の目指すべき姿の整理、現在の課題の整理、解決策とアクションプランとして、あらためて町会の防災に関するアンケート調査を実施。現状の課題と今後のロードマップ、アクション案を整理し、提案しました。



防災のための「共助力」UPに向けたロードマップを提案！

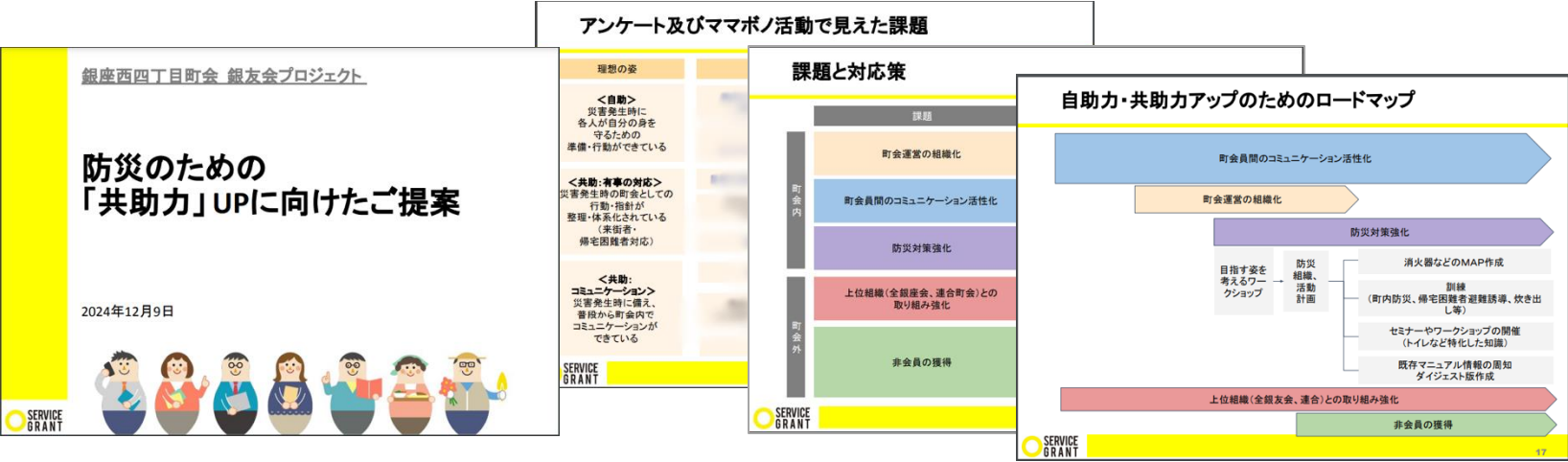
銀座西四丁目町会銀友会[中央区] 構成会員数 62



●プロジェクトの流れ

キックオフミーティング	銀友会のみなさんから現状や課題意識について伺いながら、成果物となる防災ガイドの方向性について確認していきました。現場見学のご相談もできました。
活動現場見学・情報収集	宝童稲荷神社秋の例大祭に伺い、町会関係者の皆さんとの連絡の様子を見学できました。また、他自治体の防災パンフレット等の事例を収集。加えて中央区地域防災計画等を基に、被害予測や備蓄、液状化の課題等について、情報を整理しました。
スコープ調整	チームの成果物のたたき台の提示を経て、新たなご意見や資料をいただき、スコープを調整。
アンケート調査	町会の防災に関するアンケート調査を行い、収集した結果のまとめと分析を実施しました。
成果提案	チームより、プロジェクトを通じて伺ってきた内容やアンケート結果を踏まえ、現状の課題と今後のロードマップ、アクション案を整理し、提案しました。

●成果物（一部抜粋）



「町会の存在を知ってもらうきっかけ」となるパンフレットを作成 烏山上町会[世田谷区] 構成世帯数 1,300

● **支援内容** 町会加入促進に向けた町会紹介パンフレットの作成

- **ポイント**
- ①写真やキャラクターを多用し、具体的なイメージを伝えながらも
町会への参加障壁を下げる
 - ②未加入者に加え、町会会員へも活動内容を知ってもらうツールに
 - ③HPやSNSへの導線としての役割も

● **プロジェクトと成果物の概要**

京王線千歳烏山駅を中心に南北に広がる利便性が高いエリアで、大型のマンションや新しい住宅も増え、単身者向けアパートなども多くある烏山上町会。災害時の自助の大切さを伝え、助け合える関係性を作るためにも、普段から顔の見える関係を作ることが大事との思いから、町会の加入者を増やしていきたいと考えています。プロジェクトでは、町会活動に関心を持ってもらい、加入につなげることのできるパンフレットの制作を目指しました。プロボノチームは、長年町会役員を務めている方、最近役員になられた方、町会未加入の方、まちづくりセンターの方などにヒアリングを実施。今後新規でアプローチしたい層である子育て世代のペルソナ等も検討し、活動内容の具体的なイメージを伝えながらも参加負担を感じさせない、親しみやすいパンフレットが完成しました。



「町会の存在を知ってもらうきっかけ」となるパンフレットを作成 鳥山上町会[世田谷区] 構成世帯数 1,300

●プロジェクトの流れ

キックオフ ミーティング	活動や関係者について詳しく伺い、町会のみなさんの思いに触れられた機会となりました。ヒアリングやアンケートなどのご相談もできました。
ヒアリング実施	活動現場見学と合わせて、長年町会役員を務められている方々にグループインタビューを実施。加えて、最近役員になられた方、町会未加入の方、まちづくりセンターの方などに個別ヒアリングを実施し、それぞれの視点でお感じの町会へのご期待やニーズ、課題等についてお話を伺いました。
中間提案	調査フェーズで得られた情報を基に絞り込まれた、パンフレットの内容やテイストについての方針を提案。具体的な掲載内容について議論し、画像・テキスト提供等のスケジュールを確認しました。
成果提案	パンフレットの各パートの作成意図を含めてあらためてご説明し、修正点を確認しました。また、多くのヒアリングで得られた情報を基に町会の課題へのアクションも提案。パンフレットの地域のイベントでの活用など、具体的なアクションプランについてのアイデア出しも行いました。

●成果物（一部抜粋）

